

第30回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. A01】

論文No.	A01
タイトル	下水処理場をエネルギーセンターへ ～豊橋市の事例とコア技術～
所属・名前	鹿島建設株式会社 菅野 一敏
キーワード	① 生ごみ ② 混合消化 ③ 再生可能エネルギー
<p>愛知県豊橋市では、生ごみの分別回収と市内の基幹下水処理場である中島処理場での生ごみ・し尿等バイオマスの受入れ、下水汚泥との混合消化による再生可能エネルギー化事業を開始した。本事業は、20年間のPFI事業として公募し、株式会社豊橋バイオウィルが2014年12月事業契約を締結後、設計・建設業務を進め、2017年10月豊橋市バイオマス利活用センターとして操業を開始し、順調な運転を行っている。</p> <p>下水処理場は、下水汚泥等地域のバイオマスを集約しエネルギーを創出する拠点として重要なインフラ施設であり、全国でも10施設あまりの下水処理場で同様な取組が実施されているが、全国最大規模で実施された地域バイオマスの集約、エネルギー化システムの事業概要、特徴、設計・建設および最新の運転状況等先進的な取組について紹介する。</p>	